Ⓕ Fundamentals Ⓐ Architect Ⓓ Design Suite

## 主な機能一覧

| ベーステクノロジー | Ⓕ | Ⓐ | Ⓓ |
|---|---|---|---|
| Parasolidモデリングカーネル | ● | ● | ● |
| 高速な描画テクノロジー（VGM） | ● | ● | ● |
| Cinewareレンダリングエンジン | ● | ● | ● |

| 2D / 3D基本機能 | Ⓕ | Ⓐ | Ⓓ |
|---|---|---|---|
| 線と面の2D汎用作図編集 | ● | ● | ● |
| 図形への透過/影表現 | ● | ● | ● |
| 2D/3D対応の文字、寸法作図 | ● | ● | ● |
| スナップルーペ・X線選択モード | ● | ● | ● |
| スマートオプションディスプレイとクイック検索 | ● | ● | ● |
| イメージのクロップ/圧縮 | ● | ● | ● |
| データベース/ワークシート | ● | ● | ● |
| シートレイヤ・ビューポート | ● | ● | ● |
| デザインレイヤ・ビューポート | – | ● | ● |
| ビューポートスタイル | ● | ● | ● |
| オーガナイザ（図面構造の集中管理） | ● | ● | ● |
| リソースマネージャ（リソースの総合管理） | ● | ● | ● |
| 名前の一括変換 | ● | ● | ● |
| ハイブリッドシンボル/2Dコンポーネント | ● | ● | ● |
| フローティングデータバー | ● | ● | ● |
| ウインドウタブ/タブパレットの切り離し | ● | ● | ● |
| 2D→3Dへのプッシュ/プルモード | ● | ● | ● |
| 多彩で強力な3Dモデリング/編集 | ● | ● | ● |
| 統合ビュー | ● | ● | ● |
| クリップキューブ（3Dモデルのリアルタイム切断） | ● | ● | ● |
| 2D/3D対応のワーキングプレーン | ● | ● | ● |
| 協働設計支援（プロジェクト共有） | – | ● | ● |
| クラウド連携・リモート | ● | ● | ● |
| DXF/DWG取り込み・取り出し | ● | ● | ● |
| PDF（2D）取り込み・取り出し | ● | ● | ● |
| PDF（3D）取り出し | – | ● | ● |
| Excel参照・取り込み・取り出し | ● | ● | ● |
| パブリッシュ（DXF/DWG/DWF/Excel） | ● | ● | ● |
| パブリッシュ（PDF/印刷/イメージ） | – | ● | ● |
| 3Dレンダリング | ● | ● | ● |
| バックグラウンドレンダリング | ● | ● | ● |

| 2D / 3D基本機能 | Ⓕ | Ⓐ | Ⓓ |
|---|---|---|---|
| ビューポートレンダリング | ● | ● | ● |
| パスベースのウォークスルーアニメーション | ● | ● | ● |
| 写真と3Dの合成（Camera Match） | ● | ● | ● |
| イメージエフェクト | ● | ● | ● |
| 豊富なシェーダ | ● | ● | ● |
| パララックスバンプ/シャドウキャッチャー | ● | ● | ● |
| 背景テクスチャ/背景放射光/フィジカルスカイ | ● | ● | ● |
| コースティクスフォトン | ● | ● | ● |
| ソフトシャドウ/アンビエントオクルージョン | ● | ● | ● |
| CPUでも利用可能なRedshiftレンダリング | ● | ● | ● |
| VGX(AR)、パノラマビュー取り出し | ● | ● | ● |
| Twinmotionダイレクトリンク | ● | ● | ● |
| Omniverseコネクター（Windowsのみ） | ● | ● | ● |

| 建築・内装設計機能 | Ⓕ | Ⓐ | Ⓓ |
|---|---|---|---|
| マテリアル作成 | – | ● | ● |
| データマネージャとデータタグ | – | ● | ● |
| グリッド線(通り芯)とレベル基準線 | – | ● | ● |
| スペース作成（空間定義） | – | ● | ● |
| ストーリ[階層]管理 | – | ● | ● |
| スタイルに対応した構造材 | – | ● | ● |
| 柱/ピラスター作成 | – | ● | ● |
| 壁/カーテンウォール作成 | – | ● | ● |
| スラブ/水勾配作成 | – | ● | ● |
| 屋根作成 | – | ● | ● |
| 壁/スラブ/屋根スタイル（構成要素） | – | ● | ● |
| ドア/窓作成 | – | ● | ● |
| 階段/手摺/フェンス作成 | – | ● | ● |
| プラグインオブジェクトスタイル | ● | ● | ● |
| 詳細図/投影図ビューポート | – | ● | ● |
| 水平・垂直断面ビューポート | – | ● | ● |
| 室内展開図ビューポート | – | ● | ● |
| データの可視化（デザインレイヤ/ビューポート） | – | ● | ● |
| ビューポートのリアルタイム編集 | – | ● | ● |
| 表題欄マネージャ | – | ● | ● |
| カスタマイズ可能なグラフィック凡例 | – | ● | ● |

| 建築・内装設計機能 | Ⓕ | Ⓐ | Ⓓ |
|---|---|---|---|
| BIMobjectツール | – | ● | ● |
| Revit取り込み・取り出し・参照 | – | ● | ● |
| IFC取り込み・取り出し・参照 | – | ● | ● |
| Solibriダイレクト接続 | – | ● | ● |

| 都市計画・ランドスケープデザイン機能 | Ⓕ | Ⓐ | Ⓓ |
|---|---|---|---|
| GeoTIFF対応のジオリファレンス | – | ● | ● |
| オンラインGISデータの利用 | – | ● | ● |
| 地形モデルの作成・編集・解析 | – | ● | ● |
| 地形モデルの造成・土量計算 | – | ● | ● |
| ランドスケープエリア/生け垣 | – | – | ● |
| 群葉の表現 | – | – | ● |
| 道路/ガードレール作成 | – | ● | ● |
| 舗床の作成・位置合わせ・ドレープ | – | ● | ● |
| 多機能の植栽ツール/既存樹木ツール | – | – | ● |
| Laubwerkプラント | – | ● | ● |
| 植栽添景ライブラリ | ● | ● | ● |
| 灌水システム | – | – | ● |

| ステージ&ライティング計画機能 | Ⓕ | Ⓐ | Ⓓ |
|---|---|---|---|
| 座席セクションレイアウト | – | ● | ● |
| パーテーションポール作成 | – | – | ● |
| イベント空間計画 | – | – | ● |
| ステージステップ/スロープ作成 | – | – | ● |
| 柔軟な吊り元作成 | – | – | ● |
| 概略図作成 | – | – | ● |
| トラス/ヒンジトラス/ホイスト/ブライダル作図 | – | – | ● |
| 照明器具データ・配置・GDTF編集 | – | – | ● |
| 多彩なフォーカス指定 | – | – | ● |
| DMXパッチ（照明器具のパッチとトラッキング） | – | – | ● |
| 柔軟な照明用番号付け | – | – | ● |
| スピーカー配置 | – | – | ● |
| 電源やケーブルシステムの作図 | – | – | ● |
| ビデオカメラオブジェクト | – | – | ● |
| ビデオスクリーン作図 | – | – | ● |
| インベントリと設備リスト | – | – | ● |

## ファイル互換一覧

| | | Ⓕ | Ⓐ | Ⓓ |
|---|---|---|---|---|
| 取り込み | DXF・DWG（R2.5～2024）/DWF（4.2・5.5・6.0）/イメージファイル（BMP・GIF・JPG・JPEG・JP2・PNG・TIFF・ICO・ECW・[Windowsのみ：WDP・DDS・EMF]・[Macのみ：SGI・TGA・EXR・PSD・ICNS・MAC・XBM・PBM・PGM・PPM・HDR・PCT]）/PDF（1.4）/ワークシート（TXT・CSV・DIF・SLK・XLS・XLSX）/スクリプト（TXT・VSS・VS・PY・PYC・XXT・MPC）/IGES（IGS・IGES）/OBJ/SAT/STEP（STP・STEP）/STL / Rhino 3DM（1～7）/Parasolid X_T（9～36）/Cinema 4Dテクスチャ（R13～2023）/USD（usd/usda/usdc/usdz）/mtexturテクスチャ/Arrowayテクスチャ/HDRI（HDR・EXR・JPG・PNG）/Distributionファイル（IES）/MCD（7～12）/VWX（2008～2023）/MosaPattern / シンボル（DXF・DWG・IGES・OBJ・SAT・STEP・STL・Rhino 3DM・Parasolid X_T ）/JW_CAD（JWW・JWS ） | ● | ● | ● |
| | IFC・IFCXML・IFCZIP（2x2・2x3・4）/Revit2011～2023（RVT・RFA）/3DS /SketchUp（SKP 4～2022）/点群（LAZ・LAS・PTS・E57・XYZ・PLY ）/ PartSpec（DXF・DWG・SAT・IGS）/隣接マトリックス（ TXT・CSV ）/ BCF・BCFZIP/ジオリファレンスイメージ（BPW・JGW・PGW・TFW・GFW・WLD・ECW）/シンボル（3DS・SKP ） | – | ● | ● |
| | Shape（SHP）/ 座標データ（TXT・CSV） | – | ● | ● |
| | 照明器具情報（Lightwright5～6）/MVR（1.6）/ GDTF（1.1） | – | – | ● |
| 参照 | DXF・DWG（R2.5～2023）/DWF（4.2・5.5・6.0）/イメージファイル（BMP・GIF・JPG・JPEG・JP2・PNG・TIFF・ICO・ECW・[Windowsのみ：WDP・DDS・EMF]・[Macのみ：SGI・TGA・EXR・PSD・ICNS・MAC・XBM・PBM・PGM・PPM・HDR・PCT]）/PDF(1.4)/ワークシート（XLS・XLSX）/VWX（2024 [レイヤ参照]） | ● | ● | ● |
| | IFC・IFCXML・IFCZIP（2x2・2x3・4）/Revit2011～2023（RVT・RFA）/VWX（2024 [デザインレイヤビューポート]） | – | ● | ● |
| 取り出し | DXF・DWG（R12～2024）/ DWF（4.2・5.5・6.0）/EPSF（3.1）/ HDRI /イメージファイル（BMP・GIF・JPG・JPEG・PNG・TIFF・HEIF［Windowsのみ：WDP・DDS・EMF］・[Macのみ：JP2・TGA・EXR・PSD・KTX・ASTC・PBM]）/PDF（1.7）・PDF A-1b（1.4）/スクリプト（TXT・PY・VSS・VS）/ワークシート（TXT・CSV・DIF・SLK・XLS・XLSX）/データベース（TXT・CSV・DIF・SLK）/ Cinema 4D（2023）/USD（usd/usda/usdc）/COLLADA（DAE）/FBX/IGES（IGS・IGES 5.3）/OBJ/SAT/STEP（STP・STEP）/STL /Rhino 3DM/Parasolid X_T（ 9～36）/Strata Vision / HDRI（HDR）/パノラマ（HTML）/VGX/アニメーション（MOV）/VWX（2019～2023）/ Unreal Datasmith（ 4.27）/JW_CAD（JWW） | ● | ● | ● |
| | IFC・IFCXML・IFCZIP（2x3・4）/ Revit2023（RVT・RFA）/ 地理空間情報（KML）/ Webビュー（HTML）/3DS /3D PDF /ジオリファレンスイメージ（BPW・JGW・PGW・TFW・GFW・WLD）/ BCF（v2.1・v3.0）・BCFZIP（v2.0） | – | ● | ● |
| | Shape（SHP） | – | ● | ● |
| | ASCIIテキスト（3.0）/ 照明器具情報（Lightwright 5～6）/ ESC（Vision 4～Vision2024） / MVR（1.6） | – | – | ● |

## 価格一覧（スタンドアロン版）

| | | Fundamentals | Architect | Design Suite |
|---|---|---|---|---|
| 永続ライセンス | 価格 | 393,800 円（税込） | **523,600 円（税込）** | 676,500 円（税込） |
| | 型番 | 124251 | **124252** | 124255 |
| Vectorworks Service Select バンドル※ | 価格 | 435,600 円（税込） | **553,300 円（税込）** | 709,500 円（税込） |
| | 型番 | C124251 | **C124252** | C124255 |
| 乗換版※（Service Select バンドル製品） | 価格 | | **474,100 円（税込）** | |
| | 型番 | | **BC124252** | |
| サブスクリプション※（1年間） | 価格 | | **245,300 円（税込）** | 306,350 円（税込） |
| | 型番 | | **SUBA29** | SUBD29 |

※製品購入の際、ご購入先に専用申込書または専用申込書 兼 契約申込書のご提出が必要な製品です。また、Service Select バンドル製品は販売期間が通常製品と異なります。

| | | Ⓕ→Architect | Ⓕ→Design Suite |
|---|---|---|---|
| モジュール追加 | 価格 | **129,800 円（税込）** | 282,700 円（税込） |
| | 型番 | **VRAR29** | VRCR29 |

| | | Ⓐ→Design Suite |
|---|---|---|
| モジュール追加 | 価格 | 152,900 円（税込） |
| | 型番 | ARCR29 |

## 動作環境

最新の推奨動作環境は、弊社Webサイトにてご確認ください。

**Vectorworks推奨動作環境**
**https://www.aanda.co.jp/Vectorworks/sysreq.html**

Vectorworks製品を導入する前に、ご使用のパソコン上で正常に動作するか評価版を使用して確認することをお薦めします。

**Vectorworks評価版ダウンロード**
**https://www.aanda.co.jp/Vectorworks/demo_index.html**

2024.01


**エーアンドエー株式会社**
https://www.aanda.co.jp

**営業部**
email（一般の方）：market@aanda.co.jp
email（販売店）：aa_sl-team@aanda.co.jp

**A&Aストア・オンライン**
https://store.aanda.co.jp



Vectorworks、Renderworks、Braceworks と ConnectCAD は Vectorworks,Inc. の登録商標です。SmartCursor と VectorScript は Vectorworks,Inc. の商標です。Vision は Vectorworks,Inc. の製品です。すべての権利は Vectorworks, Inc. が保有しています。Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。Mac、macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。その他記載されている会社名および商品名などは該当する各社の商標または登録商標です。使用しているイメージは Vectorworks Design Suite を使用し、一部、画像処理を行っているものが含まれています。製品の仕様、サービス内容等は予告なく変更することがあります。

A&A Co., Ltd. and its licensors. All rights reserved. Printed in Japan. 240104 AI


VECTORWORKS®
# ARCHITECT

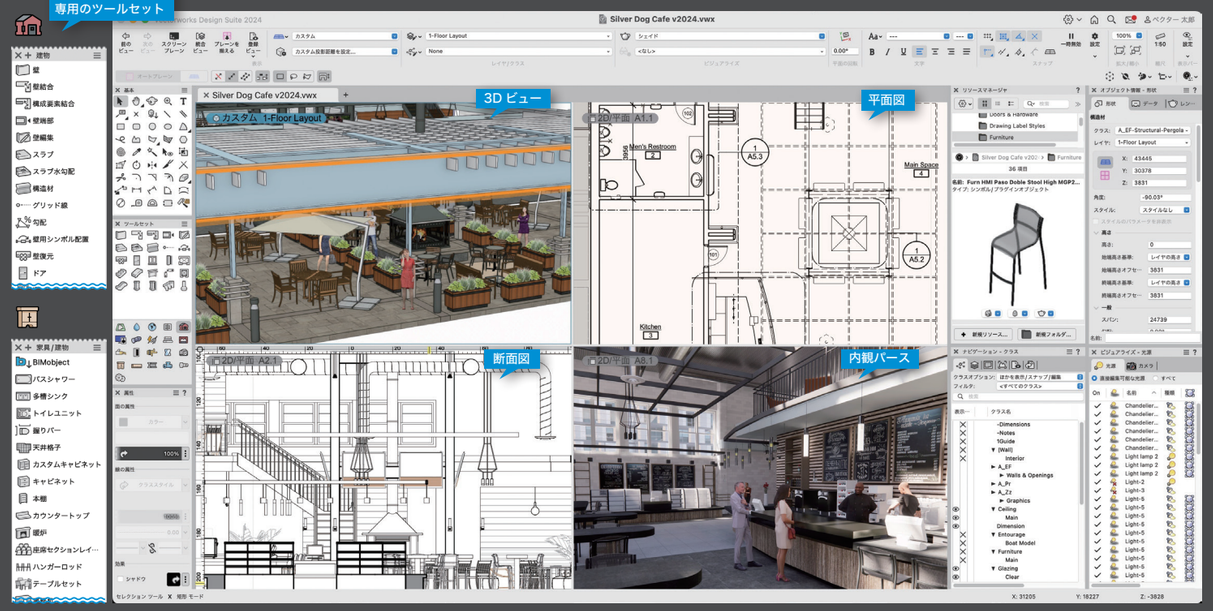
## 建築／建設業界の BIMプロセスを強力に推進

Vectorworks Architectは、高性能な2D / 3D汎用作図機能と3Dビジュアライズ（テクスチャマッピング / レンダリング等）機能に加え、建築設計や内装、ディスプレイデザインに対応した先進的なBIM・インテリア設計支援機能、拡張機能、さらには豊富な建築向けのデータライブラリを搭載した建築 / 内装業界向け製品です。

Oyaki Farm by Irohado | Courtesy of Tono Mirai Architects

A&A

建築設計に役立つ
専用のツールセット




VECTORWORKS ARCHITECT

# 汎用作図+BIM・インテリア設計支援機能

Vectorworks Architectの主な機能と特徴をご覧いただける動画です。

https://university.vectorworks.net/mod/overview/view.php?id=3913

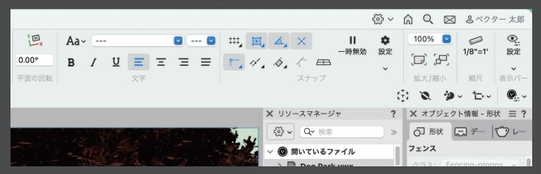
## 基礎機能

### インターフェイス

F A L S D UP

設計環境の利便性を高める機能が搭載されています。計画の軸に応じて図面を回転できる機能や、クラスやレイヤなどのファイル構造を一覧できるナビゲーションパレットによって、作業環境をすぐに切り替えることができます。
Vectorworks2024で刷新された表示バーには、ビューの状態や図形へのスナップをコントロールしたり、縮尺や文字設定を素早く切り替えるための機能が集約されています。

※表示バーは、Fundamentalsでもご利用いただけます



### データの管理と可視化

F A L S D

柔軟性が設計作業とマッチすることで、ワークフローはさまざまな面でスムーズになります。データの可視化機能は、指定した条件に合致したオブジェクトを色分けして視覚的に分かりやすく確認ができるため、設定ミスを防ぎます。また、図面化に必要なさまざまな情報の表示にはデータタグが便利です。個別または自動的に複数のオブジェクトにタグ付けでき、時間を節約できます。

### 協働設計

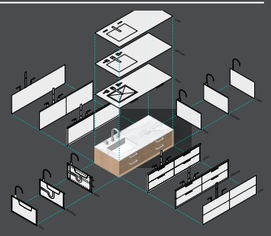
F A L S D UP

複数人で設計を進める場合、プロジェクト共有が有効な手段です。追加のソフトウエアやコストを必要とせず、共有設定をしたファイルをサーバーやVectorworks Cloud Servicesの共有フォルダに置くだけで開始できます。それぞれの状況を確認しながら、お互いの作業を干渉することなく協働設計を進めることが可能です。また、シンボルやハッチング、壁スタイルなど共通して使うリソースは、ワークグループ機能を使うことで一元管理でき、参照元のファイルを変更するだけで全員のリソースを更新することが可能です。
バージョン2024では、すべての変更を常に追跡できるようになり、安定性が大幅に向上しました。

### カスタマイズ可能な ハイブリッドオブジェクトの2Dコンポーネント

F A L S D

3D環境での作業が多くなっている今、3DモデルやBIMモデルから図面を効率的に取り出す方法が求められています。ハイブリッドオブジェクトの2D表示を自由に設定できる機能が搭載されたことで、シンボルやプラグインオブジェクトの詳細度を完全にコントロールできます。どのようなハイブリッドオブジェクトでも、右クリックして編集画面に入るだけで、平面図や立面図、断面図に必要な図面表現を作図できます。



### ファイル互換性

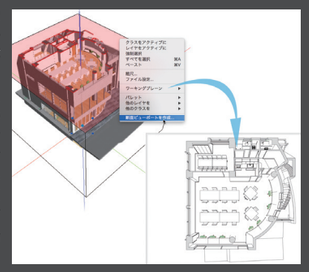
F A L S D

Fundamentalsでは対応していない多くのファイル形式の取り込み/取り出しが可能で、Revitや各CADソフト、3Dソフト、グラフィックソフトとの互換を実現します。
ファイルをVectorworksにドラッグ&ドロップするだけで、取り込み設定のダイアログが表示され、素早く作業に移ることができます。

### 設計環境

F A L S D

クリップキューブを使って、直感的に切断位置を決定して水平面や垂直面の断面図を取り出すことができます。取り出した立断面図は、ダブルクリックすることでオブジェクトを直接編集できます。平面のビューポートは、表示されているオブジェクトの情報をもとに色分けできるため、カラースキームなども容易に表示可能です。作成した図面はパブリッシュ機能により、PDFやイメージ、印刷などを手早く一括処理できます。

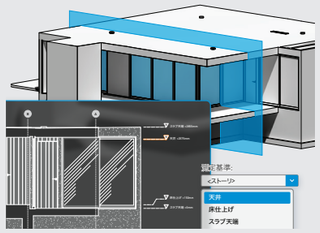


## Vectorworks Architectの便利な拡張機能

### 数値で管理できる階高設定

F A L S D

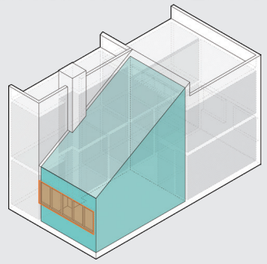
建物の計画には高さ方向の寸法を押さえることが必要です。ストーリ機能を使うと、各階のFLを設計GLからの高さで決定できます。さらに、天井仕上げや腰壁天端などのように、1つのフロアにあるさまざまな仕上げのレベルを、各FLからのオフセット寸法として規定することが可能です。これにより、壁やスラブなどの建築オブジェクトは仕上げレベルに追従するように高さを自動的に調整します。階高が変わった場合も、1つの数値を変更するだけで建築モデルは自動修正されます。ストーリと連動したレベル基準線をデザインレイヤや立断面図に配置することで、基準線から階高変更も可能です。



### 柔軟な空間プログラム

F A L S D

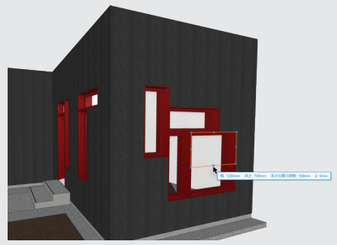
空間は建物の内部を満たす重要な要素です。スペースツールを使うと、リビングや廊下、寝室など具体的な部屋名とともに広さを定義できます。さらに部屋に関わる多くの情報を設定し、それらをワークシートに一覧表として集計が可能です。スペースに各種仕上げ情報を登録することで、素早く仕上げ一覧表を作成でき、モデルとワークシートの双方向で編集できます。スペーススタイルを活用すると、モデリングをさらに省力化し管理が容易になります。スペースの各種情報はデータタグで表示できるため、表現や情報のカスタマイズが柔軟に行えます。



### 専用ツールで建築モデリング

F A L S D UP

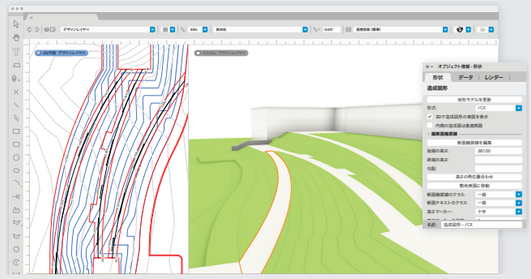
多くの壁やスラブなどは単一材料ではなく、複数の材料で構成されています。それらをスタイルとして保存することで、スタイルを選びながら素早くモデリングできます。作成した壁のスタイルを変更するだけで、詳細な壁に変えることが可能です。また、スタイルを社内の標準仕様として共有できます。Vectorworks 2024では複数の回り込みを設定しておき、開口部ごとに割り当てることができるようになりました。
さらに、詳細なパラメータを持つ手摺ツールとフェンスツールが搭載され、現実と同様のモデルを作成しやすくなりました。
Vectorworks ArchitectまたはDesign Suiteでは、無償提供中の「木造BIMツール」「木造建具ツール」を使うと、在来軸組や日本仕様の建具をモデリングできます。



### 地形モデルの作成と編集

F A L S D UP

国土地理院の数値地図データや測量データを取り込み、現況の地形モデルを素早く作成できます。さらに造成面や法面を指定し、計画地形モデルの表示や切土/盛土の算出が可能です。また、舗床ツールを活用し、園路などの歩道部分をモデリングできます。2024バージョンからは地形モデル解析が改良され、異なる範囲の標高を凡例で表示できるようになりました。

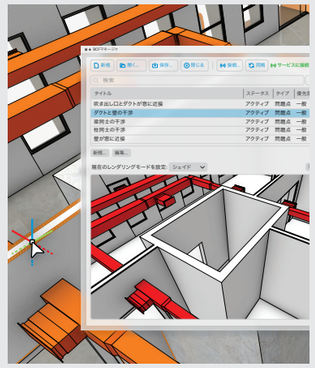


### 広がるBIMモデルの活用

F A L S D

BIMの標準ファイルフォーマットであるIFCに正式対応しています。BIMモデルをIFCに取り出すことで、世界中にある多くのアプリケーションで活用することができます。Vectorworksに標準で搭載されているライブラリは、最新バージョンのIFC(IFC2x3、IFC4)とCOBie(v.2.4)に対応しているため、建物モデルを業界標準のIFCとCOBieに素早く確実に取り出すことができます。Solibri Insideを使って、BIMモデルの干渉チェックやルールベースのモデルチェックが可能です。

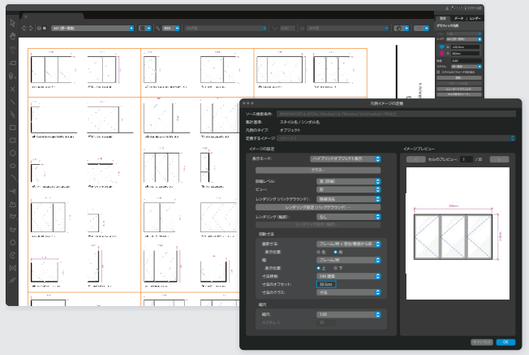
※Solibri Insideは英語版で別売です。



### モデルとリンクした図面/レポート作成

F A L S D UP

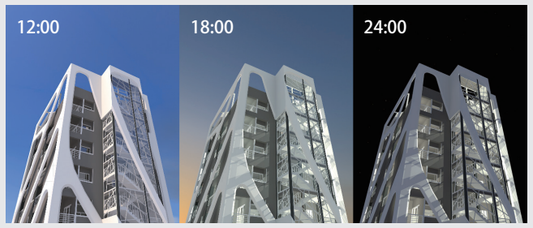
デザインの次に必要なものは提出物としての設計図書です。作成した建築BIMモデルから各種ビューポート機能を使って、平面図や立面図、断面図や展開図を取り出すことができます。断面図では、自由形状の3Dモデルでも建築オブジェクトと包絡処理でき、切断位置の手前や奥にあるオブジェクトの表示状態を設定することで柔軟な図面表現が可能です。モデルに含まれる情報は、ワークシートに一覧表として集計できます。モデルや情報の変更があった場合は、ビューポートやワークシートを更新するだけで最新状態を確認できます。Vectorworks 2024では、グラフィック凡例が強化され、画像の整列や動的テキストのカスタマイズなどがより簡単になりました。



### 多彩なプレゼンテーション

F A L S D

敷地の緯度経度を設定することで、任意の日時における太陽光をすぐに再現できます。標準で47都道府県庁所在地が登録されているため、多くの地域では都市名を選択するだけです。3Dモデルの背景には、時刻と連動したフィジカルスカイを設定でき、太陽光設定の時刻に合わせて空の外観が変更されます。ソーラーアニメーションで取り出す際には時刻の推移に自動調整されます。3Dモデルのプレゼンテーションとして、柔軟なウォークスルーアニメーションを作成したり、360°見回せるパノラマレンダリングなどを活用できます。




機能を搭載している製品を各プロダクトマークで表記しています。グレーのマークは、同機能が搭載されていない製品です。

F Fundamentals A Architect L Landmark S Spotlight D Design Suite